

第11回一関地区広域行政組合一般廃棄物処理施設整備検討委員会会議録

- 1 会議名 第11回一関地区広域行政組合一般廃棄物処理施設整備検討委員会
- 2 開催日時 令和2年9月30日（水）午前9時55分から午前12時5分まで
- 3 開催場所 一関保健センター 栄養指導室
- 4 出席者
 - (1) 委員 佐藤善仁委員長、高橋邦夫副委員長、齋藤清壽副委員長、千葉敏紀委員、小野寺愛人委員、千葉多嘉男委員、鈴木淳委員、菅原幹成委員、村上秀昭委員、小野寺正行委員、菅原彰委員
 - (2) 事務局 小野寺啓事務局次長兼総務管理課長、吉田健総務管理課長補佐兼施設整備係長、中村謙介総務管理課主査
一般財団法人日本環境衛生センター4名（以下、日環センター）
- 5 議 事
 - (1) 報告 前回までの資料の修正について
 - (2) 協議
 - ① 候補地の評価（案）の検討について
 - ア 中間処理施設の候補地の評価（案）について
 - イ 最終処分場の候補地の評価（案）について
 - ② エネルギー利用方針（案）の検討について
 - ③ 関連施設の整備方針（案）の検討について
- 6 公開、非公開の別 非公開
- 7 報告内容

事務局 これまでに協議した内容について、協議結果を資料に整えたので報告する。
（報告1から資料7-2により事務局から説明）
- 8 協議内容
 - (1) 候補地の評価（案）の検討について

事務局 前回の委員会でいただいたご意見などを踏まえて資料を再調整した。調整後の資料について説明するので、ご意見などをいただきたい。
（資料1-1、1-2により事務局から説明）

委員 「環境に配慮した施設」の評価項目に「景観との調和」があるが、景観として捉えられるものには多様性がある。どのような視点から景観を評価したのか分かりやすい表記が必要である。

委員 「経済性に優れた施設」の評価は、施設建設費などの初期費用と運転管理費

などの維持費用から評価しているが、各費用は候補地の比較のために現時点で試算したものであり、事業費として確定されたものではないことを明記する必要がある。また、各費用の試算のために設定した施設規模などの条件についても併せて明記するべきである。

委員 「その他」の評価について、候補地が亜炭鉱区内であった場合でも候補地の地下に採掘跡があることが確定されたものではないため、直接的に危険性や経済性などに影響するものではない。そのため、そのことにより必要となる詳細調査に時間や追加費用を要することなど、どのような視点から評価されたものであるのか説明が必要である。

委員 「その他」の評価項目に「土質」があるが、内容が専門用語のため分かりづらい。分かりやすい表現にしたほうがよい。

委員 評価は「利点」と「課題」で整理されているが、利点や課題にならない内容も記載されている。利点や課題ではないが、評価するうえでは重要な内容であるため、別に整理する項目を設けることが必要だと思われる。

委員長 出された意見などを反映し、資料を修正すること。

(2) エネルギー利用方針（案）の検討について

事務局 前回示した資料を修正し、余熱等の利用例も併せて掲載したので、利用可能エネルギー量についての共通理解を図りたい。

（資料2、2-2により事務局から説明）

委員 利用可能なエネルギー量に施設稼働時点とその10年後の状況は資料にあるが、その後はどのように推移するのか。

事務局 新処理施設の稼働後20年程度で基幹改良することを想定しており、それに合わせて発電設備などもその時点で最適なものに更新する。そのため、将来的にも発電効率が大きく落ち込むことはない。

委員 3の「(2) 回収エネルギーの利用の優先順位（案）」の「② 一関市及び平泉町の課題解決につながる利用」と「③ 公共施設、公用施設又は新規に整備する余熱活用施設での利用」の違いが分かりづらい。表現を見直す必要がある。

(3) 関連施設の整備方針（案）の検討について

事務局 前回の協議で、関連施設の整備方針は、リサイクル施設の整備時期について方向性が明らかになった時点で改めて検討を行うこととしたため、そのように資料を修正した。

（資料3により事務局から説明）

9 担当課 総務管理課